



## **ap bank fes '12 Fund for Japan**

2012.7.14/15/16 TSUMAGOI

2012.8.4/5 AWAJISHIMA

2012.8.18/19 MICHINOKU

Environmental Report / 環境報告書

## 目次

---

<b>Music</b> 音楽 ; 出演者一覧	1
<b>eco-reso talk</b> トーク ; 登壇者一覧	2
ミニトーク登壇者一覧	3
<b>Workshop</b> ワークショップ ; 特別ワークショップ / 竹のぶらんこ、竹あかり	4
メッセージツリー / ボランティアについて知る / 地元とのコラボレーション / eco-reso camp	5
<b>Organic Food</b> 食事について	6
<b>Eco-Products</b> 雑貨について	6
<b>Environmental Measure</b> 環境対策 ; マイ食器 / リユース食器	7
ごみの分別とそのゆくえ	8
その他の取り組み	9
<b>Energy</b> エネルギー	9
<b>Official goods</b> オフィシャルグッズ	10
<b>Event outline</b> 公演概要	11
<b>Statement of income and expenses</b> 収支報告	12
<b>About</b> ap bank とは / ap bank fes とは / ap bank Fund for Japan とは	13

# Music

ap bankの「ap」に込められている意味のひとつ、「Artists' Power」。

小林武史と櫻井和寿を中心とするBank Bandが奏でる音楽や、ゲストアーティストとの唯一無二のコラボレーション、バンドアーティストの力強いサウンド。ap bankやこのイベントの趣旨に賛同してくださったアーティストから生み出される音楽は、ものや言葉の壁を超えて伝える、つながる、広がっていく力を持っています。



## □ メインステージ出演アーティスト (出演順・敬称略)

	Bank Band with Great Artists	Band Act
	7/14 土 Salyu、スガシカオ、JASON MRAZ、平井堅	Spitz、Mr.Children
つま恋	7/15 日 ナオト・インティライミ、持田香織、吉川晃司	藤巻亮太、MONKEY MAJIK、Mr.Children
	7/16 月・祝 Crystal Kay、JUJU、ゴスペラーズ	ストレイテナー、小田和正、Mr.Children
淡路島	8/4 土 Salyu、KAN、横山剣	GRAPEVINE、曾我部恵一 BAND、Mr.Children
	8/5 日 ナオト・インティライミ、Def Tech、RHYMESTER	NICO Touches the Walls、TRICERATOPS、Mr.Children
みちのく	8/18 土 ナオト・インティライミ、スキマスイッチ、ボルノグラフィティ、吉川晃司	ACIDMAN、くるり、Mr.Children
	8/19 日 Salyu、藤巻亮太、スガシカオ	andymori、井上陽水、Mr.Children

## □ koti market live (つま恋) / eco-reso live (淡路島、みちのく) 出演アーティスト (出演順・敬称略)

	7/13 金 大石昌良、城南海、コンドルズと踊ろう! & ストライク、GAKU-MC
つま恋	7/14 土 だいじゅ、Kat McDowell、おお雨 (おおはた雄一 + 坂本美雨)
	7/15 日 澤田かおり、近藤晃央、ATSUSHI presents 「POWER of LIVE in koti market」
	7/16 月・祝 球舞 -CUBE-、宮崎薫、曾我部恵一
淡路島	8/4 土 だいじゅ、曾我部恵一 & Permanents
	8/5 日 植田真梨恵、GAKU-MC
みちのく	8/18 土 イシイモモコ、Rake、曾我部恵一
	8/19 日 EG、登坂亮太、GAKU-MC

# eco-reso talk

ap bank fes の大きなコンテンツの一つでもあるトークセッションでは、ap bank がその時々に関心を寄せていることや考えていること等をテーマに展開しています。今回は「復興支援」をメインテーマに、その他「食」や「日本人のアイデンティティ」など、さまざまな分野の有識者やゲストとともに熱い議論が繰り広げられました。

## □ トークテーマ・登壇者

(敬称略)

	7/13 金	『ぼくらをとりまく 2012 ～ ap bank radio special issue ～』 エリイ(美術家)、小林武史 & スペシャルゲスト 亀田誠治、小倉博和
つま恋	7/14 土	『FOOD RELATION NETWORK』 五十嵐美幸(「美虎」オーナーシェフ)、奥田政行(「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフ) 笹島保弘(「イル・ギオットーネ」オーナーシェフ)、山下一穂(山下農園代表)、小林武史
	7/15 日	『サステナブルな未来のために』 枝廣淳子(環境ジャーナリスト、翻訳家)、知花くらら(モデル)、小林武史
	7/16 月・祝	『Think 'bout FUKUSHIMA!!!!』 エリイ(美術家)、筋内道彦(クリエイティブディレクター)、小林武史
淡路島	8/4 土	『新しい日本のパースペクティブ』 立花貴(漁師)、辻元晴美(衆議院議員)、吉岡達也(ピースポート)、小林武史
	8/5 日	『日本の王道』 内田樹(思想家)、中沢新一(思想家)、小林武史
みちのく	8/18 土	『復興の現場、その希望と未来』 伊藤歩(女優)、田村太郎(復興庁)、小山良太(福島大学准教授)、小林武史
	8/19 日	『日本人のこころのゆくえ』 いとうせいこう(クリエイター)、宮台真司(評論家)、小林武史





つま恋	7/13 金	『東日本大震災におけるボランティア活動について』 中村真菜美(災害復興ボランティア/ap bank Fund for Japan 現地ボランティアコーディネーター) MC; 宍戸慈(meets 福しま)
		『Food Relation Network ～これまでの活動とこれから～』 鈴木佳男(クルック)、豊増洋右(耕す) / MC; 宍戸慈(meets 福しま)
7/14 土		『東日本大震災におけるボランティア活動について』 中村真菜美(災害復興ボランティア/ap bank Fund for Japan 現地ボランティアコーディネーター) MC; 宍戸慈(meets 福しま)
		『田中優さんに何でも聞いてみよう!』 田中優(未来バンク事業組合理事長/ap bank 監事) / MC; 宍戸慈(meets 福しま)
7/15 日		『meets 福しま ～福島の間を知る～』 河崎健一郎(弁護士/福島子どもたちを守る法律家ネットワーク「サフラン」共同代表)、木下真理子(meets 福しま) MC; 宍戸慈(meets 福しま)
		『被災地子どもたちの放課後学習支援活動について』 今村久美(特定非営利法人 NPO カタリバ) / MC; 宍戸慈(meets 福しま)
		『～think nature～ もっと海を知ろう』 白石健次郎(海洋冒険家) / MC; 滝沢守生(ap bank fes eco-reso camp よろず相談所統括)
7/16 月・祝		『全国の支援者の想いをつなぐ被災地雄勝の“新しい町づくり”について』 立花貴(漁師/株式会社 OH ガッツ) / MC; ケン・マスイ
		『Food Relation Network』 奥田政行(「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフ、「SORA SEED」「farm il aid」プロデューサー) / MC; ケン・マスイ
淡路島	8/4 土	『meets 福しま ～福島の間を知る～』 伊藤孝介(NPO フロンティア南相馬 理事) / MC; 宍戸慈(meets 福しま)、木下真理子(meets 福しま)
		『神戸から石巻へ。人がつなげるボランティアネットワーク』 山本隆(一般社団法人ピースポート代表理事) / MC; ケン・マスイ
8/5 日		『全国の支援者の想いをつなぐ被災地雄勝の“新しい町づくり”について』 立花貴(漁師/株式会社 OH ガッツ) / MC; 宍戸慈(meets 福しま)
		『Food Relation Network』 笹島保弘(「イル・ギオットーネ」オーナーシェフ、「code kurkku」プロデューサー) 奥田政行(「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフ、「SORA SEED」「farm il aid」プロデューサー) / MC; ケン・マスイ
みちのく	8/18 土	『meets 福しま ～福島の間を知る～』 小山良太(福島大学准教授) / MC; 宍戸慈(meets 福しま)、木下真理子(meets 福しま)
		『地域に根ざした復興支援活動と復興共生住宅「手のひらに太陽の家」プロジェクトについて』 佐々木豊志(日本の森バイオマスネットワーク) / MC; ケン・マスイ
		『石巻でボランティアが触れたもの』 中村真菜美(災害復興ボランティア/ap bank Fund for Japan 現地ボランティアコーディネーター)、 阿部紀代子(石巻市民)、毛利壮幸(石巻市民) / MC; ケン・マスイ
8/19 日		『東北コットンプロジェクト』 赤坂芳則(仙台東部地域綿の花生産組合長) / MC; 宍戸慈(meets 福しま)
		『贈る図書館について ～野田村のその後～』 貳又正貴(野田村役場職員) / MC; ケン・マスイ

# Workshop

自然のものや不要になったものを使ったものづくりや発電体験、自然とのふれあい体験など、環境について考えるきっかけとなるようなワークショップを開催しました。会場となった地域の特色を生かしたものも取り入れ、3カ所を通じて多様なワークショップを楽しんでいただきました。



A シェラカップづくり B ともしびプロジェクト～被災地に希望の光を灯しつづけよう～によるミツロウキャンドルづくり  
C つま恋で大人気の自然観察会がみちのくにも。会場が変わると観察できる植物や生物も違います。  
D 淡路島の土を使った染め物を体験できる、ベンガラ染め E 自電車発電したエネルギーをLEDに蓄え、みんなでロゴを作りました  
F ツリークライミング G 被災した女性たちの団体「ドルフィンドリーム」が仮設住宅で行っているハンドケアマッサージを教えてくださいました

## 福島の子どもたちとアーティストと来場者が「to U」でスペシャル共演！

光の軌跡で文字や絵を描くクリエイティブ・ユニット トーチカと福島の中学生 30 人が、「to U」の歌詞映像を会場内で作成。当日のアンコールで唄われた「to U」でその映像を流し、アーティストのみならず来場者にもその歌詞映像を見ながらコーラスの一部を担っていただくという特別プログラムを開催しました。(みちのく 8/18)  
協力：ARIGATO PROJECT



## 3カ所を繋いだ竹のぶらんこと竹あかり

つま恋でおなじみの竹の遊具や竹あかり。そのうち最も人気のある大きな竹のぶらんこと竹あかりを3カ所すべての会場で行いました。竹害改善を目的として竹を使うプロジェクトをスタートした「ちかけん」によって、各地元の竹を使って作られました。





## 「淡路島」から「みちのく」へ、想いをつなげるメッセージツリー

ap bank fes初の会場となる「淡路島」と「みちのく」。そこは「震災」というキーワードでつながっています。過去の大きな震災を乗り越え、復興そして地域発展を目指すすすんでいる淡路島より、東日本大震災の被災地である東北のみなさんにメッセージを届ける企画を、神戸新聞社と共同で展開しました。淡路島会場のap bank Fund for Japanブースに用意されたメッセージカード。多くの方の東北のみなさんへの想いをのせたメッセージを、2週間後のみちのく会場で展示。会場にお越しの多くの方にその想いを感じていただきました。



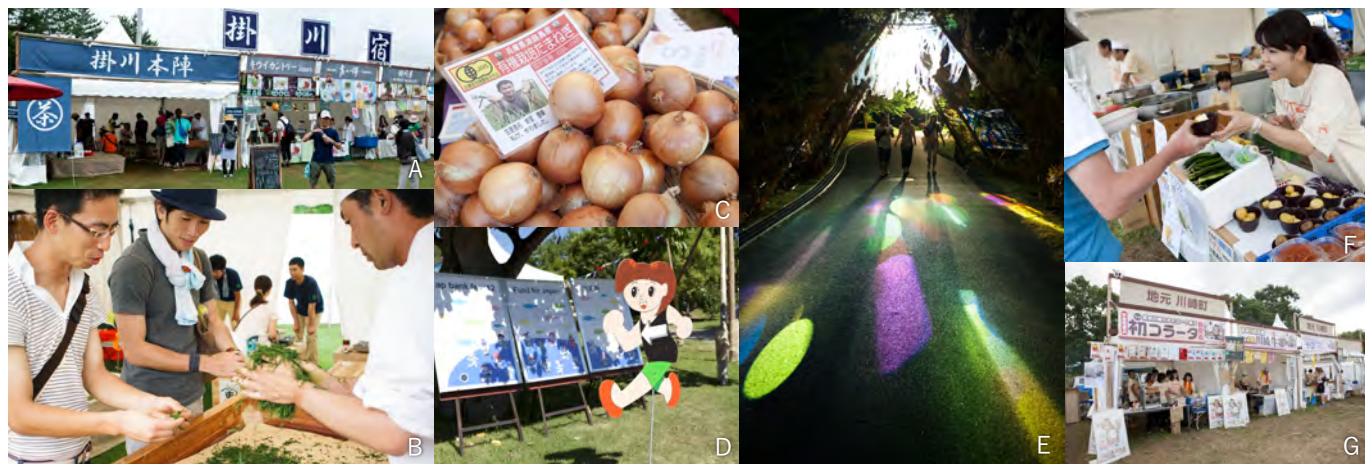
## ボランティアについて知る

震災直後に多くの方が参加した復興支援ボランティア活動ですが、時間が経つにつれ、まだニーズがあるにもかかわらず注目度が下がり参加人数も減少している傾向にあります。全3会場、NPO 法人ボランティアインフォによるブースを展開し、YES or NO クイズを進めていくなかで参加者一人ひとりの特性を見直し、それぞれに合ったボランティアを提案するほか、多様なボランティアの在り方を伝えるなど、ボランティアの間口を広げる活動を行いました。



## 地元とのコラボレーション

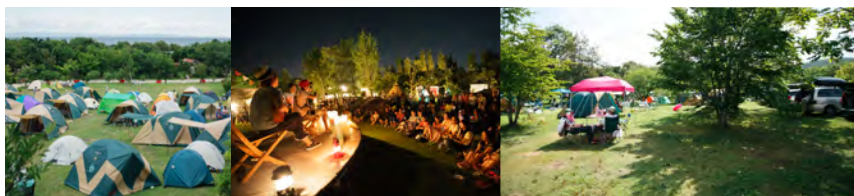
3カ所で開催するにあたって、来場者に会場ごとにその土地を感じていただけるよう、また地元の方にも ap bank fes を知っていただけるよう、地元とコラボレーションした企画を取り入れました。



【つま恋】A つま恋のある静岡県掛川市の行政と地元のみなさんによる「掛川宿」ブース。地元産食材を使った飲食店が並びます。B 掛川の伝統的なお茶作りを体験できるワークショップも人気。 【淡路島】C 淡路島では地域の食べものが充実。特産品の販売も。D ひときわり組んでいた淡路島会場の誘導に一役買っていたのが NPO 淡路島アートセンターのみなさんによる約 20 体もの「飛び出し坊や」ならぬ「矢印坊や」。 E 芸術家を育てるプログラムを行っているパソナグループここから村の若手アーティストのみなさんに、会場装飾の一部を担当していただきました。昼はナチュラルな素材がやさしい趣のゲートが夜には一転して光がゆらめく不思議な空間に。 【みちのく】F,G 地元宮城県柴田郡川崎町のみなさんによる出店。玉こんにゃくや川崎牛串など、地元の味を楽しめました。

## eco-reso camp

自然の中で遊び、眠る体験を楽しめるキャンプ。3会場それぞれの特性を活かし、つま恋ではゆったりキャンプ、淡路島では手ぶらでも楽しめる初心者向けのキャンプ、みちのくでは初のオートキャンプを行いました。





# Organic Food

認証の有無にかかわらず、環境や体に配慮した食事を ap bank fes では「オーガニックフード」と呼び、来場するみなさんに提供しています。それぞれの会場で、その地域の豊かな食が感じられるようなメニューや、生産・流通・調理の過程での環境負荷をできるだけ軽減するよう工夫を凝らしていたり、安心安全にこだわった飲食店が並びます。



A 雄勝の漁師が育てた牡蠣とホタテ。素材の良さを味わっていただくためシンプルな炭火焼で提供。

B 食料自給率 120%と言われる淡路島の食材満載の地元淡路島出店。

C 各店舗がどのような配慮しているのかを示すアイコン「食良くん」を付けた最後尾看板でお店を PR。

# Eco-Products

自然由来の素材を使用したり製造行程が環境に配慮しているなど、ひとや環境にやさしい製品や、復興に向かうプロダクトを販売しています。

A 岩手県大槌町の女性による「大槌復興刺し子プロジェクト」。

B 宮城県石巻市牡鹿半島のお母さんたちによる手仕事ブランド「OCICA' Dear Horn Dream Catcher」。鹿の角と漁網の補修糸で作るアクセサリなど。





# Environmental Measure

ap bank fes は、大規模イベントの開催によって生じるさまざまな環境負荷をできるだけかけないようなイベント作りを目指し、いろいろな取り組みを実践しています。そのひとつがごみへの取り組みです。

出てしまったごみを分別し適正に再生利用(リサイクル)することはもちろん、なるべく繰り返し使う(リユース)こと、そして最終的には根本からごみを出さない(リデュース)仕組みを会場実践していただき、日頃から一人ひとりがこれらを意識することで持続可能な社会づくりに繋げていけたらと考えています。

## マイ箸・マイカトラリー、マイ食器

参加者が気軽にできる取り組みとして、ap bank fes ではマイ箸・マイカトラリー、マイ食器(カップ、ディッシュ)の持参を呼びかけています。ごみになってしまう使い捨て容器を使わず、使い慣れたお気に入りのマイ食器で食事を楽しむこの取り組みを、多くの来場者が実践しています。マイ食器の洗浄所では、古布を使って水の汚染に配慮した洗浄方法にもチャレンジ。ごみや環境負荷を減らす体験を楽しみながら実践できる仕組みです。



A 食器についた汚れを古布で拭き取ってから洗浄。排水の水質汚染の軽減になります。 B 今回は、会場でマイ食器を利用してくれた方に、先着でオリジナルステッカーをお渡ししました。C 忘れてしまった場合は、会場内にて間伐材のお箸やカトラリーを購入することもできます。

## リユース 食器

ap bank fes ではオーガニックフードを、使い捨ての紙皿や紙コップではなく、洗って繰り返し使える「リユース食器(カップ、ディッシュ)」で提供しています。初回の試験的導入からスタートし、4回目開催の'08にイベントで使うすべての食事をリユース食器で提供することができました。

今回は3会場すべてでのリユース食器の全面導入にチャレンジ。約5週間での3会場7公演という過密スケジュールのなか、全国から集められたリユース食器をやりくりし、また多くの参加者がマイ食器を持参してくださったこともあり、すべての会場で使い捨て容器を使うことはありませんでした。



A つま恋では会場内でボランティアがリユースカップを洗浄し、くり返し利用することで、1つのカップを1.8回利用することができました。

**実績** リユース食器の導入によってごみの削減が可能になる一方、その運営面では食器の運搬・洗浄などさまざまなところでエネルギーを消費しています。そのような点をふまえ、この仕組みを来場者に体験していただきつつ、かつ、エネルギー負荷を減らしてムダのないリユース食器運営を心がけています。

淡路島とみちのくでは、リユース食器の紛失率が高い結果に。

ap bank fes 初の会場であったため、リユース食器システムに不慣れた来場者も多かったのではないかと考えられます。

	リユースディッシュ		リユースカップ	
	総利用数	紛失率	総利用数	紛失率
つま恋	145,976 枚	3.4% (4,938 枚)	87,284 個	3.6% (3,103 個)
淡路島	45,093 枚	13.9% (6,255 枚)	29,122 個	10.2% (2,957 個)
みちのく	49,206 枚	4.1% (2,002 枚)	21,942 個	9.6% (2,098 個)
3会場合計	240,275 枚	5.5% (13,195 枚)	138,348 個	5.9% (8,158 個)

## ごみの分別とそのゆくえ

どうしても出てしまう「ごみ」もきちんと分別回収し、適正にリサイクルすることで「資源」として有効活用することができます。ap bank fes では、分別項目やリサイクル方法などを、地域やその時々に適した効果的な方法を都度検討し、決定しています。また新たな会場となった淡路島、みちのくについても、出来るだけ地元地域でのリサイクルを心がけました。

### □ごみの13分別とそのゆくえ、ごみの排出量

分別項目	会場	処理方法	再生物	リサイクル委託先	排出量	
					会場別	総合計
ペットボトル	つま恋 淡路島 みちのく	分子レベルに分解して、 ポリエステル原料に	ポリエステル繊維 再生樹脂	帝人株式会社 帝人株式会社 株式会社サイコー / 協栄産業	3,210kg 1,370kg 1,060kg	5,640kg
ペットボトルのキャップ	つま恋 淡路島 みちのく	洗浄・破碎してふたたびペレットに	プラスチック製品	株式会社エコネコル 有限会社ナガタ商会 / 有限会社エヌ・アール・エス 株式会社サイコー	284kg 120kg 75kg	479kg
ペットボトルのラベル、プラスチック (食べ物の汚れがついていないもの)	つま恋 淡路島 みちのく	分解し、紙や木材と混合して固形燃料に 破碎し、木や紙と混合して高炉の燃料に 破碎、圧縮梱包して燃料に	RPF (固形燃料) フラフ燃料 RPF (固形燃料)	株式会社エコネコル 鳥取興業株式会社 株式会社サイコー / 株式会社関商店	1,330kg 410kg 400kg	2,140kg
缶 (アルミ、スチール)、 金属キャップなど	つま恋 淡路島 みちのく	素材ごとに選別・溶解し、再び鋼材に	缶・金属製品	株式会社エコネコル 有限会社ナガタ商会 / 有限会社エヌ・アール・エス 株式会社サイコー	790kg 200kg 335kg	1,325kg
紙 (食べ物の汚れがついていないもの)	つま恋 淡路島 みちのく	溶解してパルプと混合し、パルプ原料に	再生紙	市栄産業株式会社 鳥取興業株式会社 株式会社サイコー	119kg 27kg 30kg	176kg
わりばし、スプーン・フォーク、串 (いずれも、木・竹のもののみ)	つま恋 淡路島 みちのく	洗浄・破碎し、燃料資源に 破碎、圧縮梱包して燃料に	燃料チップ 燃料 RPF (固形燃料)	株式会社イーシーセンター 鳥取興業株式会社 株式会社サイコー / 株式会社関商店	170kg 100kg 98kg	368kg
生ごみ	つま恋 淡路島 みちのく	水分と養分を調整して飼料化 油温減圧乾燥し、飼料化 土中の微生物の働きで堆肥化(コンポスト)	ぶたの飼料 飼料 堆肥	有限会社ひがしぐるま 鳥取興産株式会社 / 京都有機質資源株式会社 SK・バイオマスリサイクルセンター	4,755kg 1,870kg 2,124kg	8,749kg
危険物	つま恋 淡路島 みちのく	それぞれの製品ごとに分別し、 適正に処理	- - -	- 鳥取興業株式会社 株式会社サイコー	15kg 10kg 5kg	30kg
布 (食べ物の汚れ拭き取り古布の回収専用)	つま恋 淡路島 みちのく	(燃えるごみとして処理)	一部熱利用し、一部埋立処分 焼却処分	- 淡路市行政施設 有限会社川崎環境整備 / 川崎町行政施設	54kg 13kg 9kg	76kg
燃やすごみ (食べ物の汚れがついた紙・ プラスチック・ビニール類など)	つま恋 淡路島 みちのく	-	一部熱利用し、一部埋立処分 焼却処分	- 淡路市行政施設 有限会社川崎環境整備 / 川崎町行政施設	5,892kg 1,596kg 1,829kg	9,317kg
ダンボール (※)	つま恋 淡路島 みちのく	溶解してパルプと混合し、パルプ原料に	再生紙	株式会社市川商店 シンノウ紙源株式会社 株式会社サイコー	5,374kg 2,060kg 1,830kg	9,264kg
ビン (※)	つま恋 淡路島 みちのく	素材ごとに分別して破碎、カレットに	ガラス製品	株式会社エコネコル 有限会社ナガタ商会 / 有限会社エヌ・アール・エス 株式会社サイコー	1,110kg 424kg 395kg	1,929kg
廃食油 (※)	つま恋 淡路島 みちのく	ろ過し、バイオディーゼー燃料へ	BDF 燃料	株式会社エコネコル 常陽産業株式会社 常陽産業株式会社	565kg 135kg 178kg	878kg

※ 出店・運営からのみ排出されたごみ

	3会場合計	つま恋	淡路島	みちのく
ごみの総量	40,371kg	23,668kg 前年比 1,795kg ▲ (11実績: 21,873kg)	8,335kg	8,368kg
リサイクル率	77.8%	74.8% 前年比 2.3% ▼ (11実績: 77.1%)	80.7%	78%
来場者 1人あたりのごみの量	158.6g	188.8g 前年比 15.7g ▲ (11実績: 173.1g)	154.4g	132.6g

**実績と考察** ap bank fes 初となる淡路島とみちのくの会場でも、つま恋同様に 10 項目以上もの細かいごみの分別回収を実施しました。天候や来場者数、出店店舗数、メニュー内容などさまざまな条件によって一概には言えませんが、来場者や出店スタッフなど多くの方々にご理解ご協力いただき、ごみを可能な限り「資源」化できました。リサイクル率も 3 会場とも 70% を超えています。来場者が会場で体験したこの取り組みが日常のアクションへと繋がっていくことを願っています。





## その他の取り組み



- A 会場で分別されたごみは、項目ごとに全て会場内にて計量。どんなごみがどれだけ出たのか、詳細にデータ化することで、その分別項目やリサイクル方法を振り返り、より効果的なリサイクルのための検証が可能になります。
- B 野外での水分補給に便利なペットボトルのごみは、会場内で圧縮・減容することで運搬にかかるエネルギー負荷を軽減しています。
- C 会場の周辺もごみのないイベントを目指し、それぞれの会場へのアクセス拠点となる、掛川駅、舞子駅、仙台駅周辺のごみ拾いを実施しました。NPO 法人 greenbird とともに '07 から継続しているこの取り組みに、多くの来場者が参加してくださいました。
- D 会場で配布するごみ袋は、食用に適さなくなった「古々米」を原料の一部に使用した「バイオマスプラスチック」で作られています。

## Energy

ap bank fes では、2005 年の初開催よりイベントで使用するエネルギーには、代替燃料や再生可能エネルギーなど環境に優しいものを選ぶことで、できるだけ環境負荷の少ないイベント作りに取り組んでいます。

### □グリーン電力 太陽光発電 >>> 再生可能エネルギー

自然エネルギー、電気の地産地消を体感していただく仕組みとして、会場内に太陽光発電パネルを設置し、そこで発電されたエネルギーで動くミストシャワーで来場者を潤しました。(A) また、太陽光エネルギーを使った街路灯を数機設置。昼間の太陽光で蓄えたエネルギーで夜の帰り道を照らしました。(B)

### □バイオディーゼル燃料 (BDF) >>> 代替燃料

会場内のライブエリア以外のエリア（フードエリア、キッズエリア、キャンプエリア等）では、BDF を燃料に使用した発電機でエネルギーを生み出し、使用しています。(C)

'12 では、BDF を更に蒸留精製した『蒸留 BDF』を導入。首都圏で実施される厳しい燃料規制にも対応し、最新のディーゼルエンジンの燃料として使用できます。無色透明でサラサラとしており、従来の BDF 特有の粘性や排ガスの臭気もありません。

### □LED 照明 >>> 消費電力の削減

ライブステージでは、'09 より電力消費を画期的に抑えることができる LED 照明を一部導入し、使用電力をそれまでよりも大幅に削減しています。(D)





# Official goods

サステナブルな世の中になるための後押しとなる素材をできるだけ取り入れ、使用することで環境負荷を少しでも軽減できるアイテムを選び、イベントの趣旨に賛同した豪華クリエイター達が ap bank の伝えたいメッセージをデザインに込めた、オリジナルグッズです。



【その他アイテム】 □上段(左より) マフラータオル: プレオーガニックコットン使用 (sunui デザイン) /マイカップ「みずのたび」(ASAKURA KOUHEI デザイン) /キャップ: リサイクルコットン使用「Emblem of my Team」(田部井美奈デザイン) /手ぬぐい ホワイト: リサイクルコットン100%使用 (箭内道彦デザイン) /マイ箸&箸袋: ギターを作る際に出た端材を使用、箸袋には木糸使用 (丹下紘希デザイン) □中段(左より) オフィシャルパンフレット: プレオーガニックコットン100%使用のサコッシュ付 (いすたえこデザイン) /キャップ「そら」: リサイクルコットン使用 (ASAKURA KOUHEI デザイン) /手ぬぐい シアン: リサイクルコットン100%使用 (箭内道彦デザイン) /扇子: リサイクルコットン使用 (木村英輝デザイン) /バスタオル フードあり・なし: プレオーガニックコットン使用 (アリシア・ベイ＝ローレルデザイン) □下段(左より) トート&メッセンジャー 2WAY バッグ: ジュート(麻)、リサイクルコットン帆布使用「speak a word」(minä perhonen デザイン) /ハット: リサイクルコットン、ジュート使用 (藤田二郎デザイン) /風呂敷: 再生ポリエステル100%使用 (タナカカツキデザイン) /手ぬぐい マゼンタ: リサイクルコットン100%使用 (箭内道彦デザイン) /ボディバッグ: ジュート(麻)、リサイクルコットン帆布使用「speak a word」(minä perhonen デザイン)



# Event outline

## □ 公演実施概要

		ap bank fes '12 Fund for Japan つま恋	ap bank fes '12 Fund for Japan 淡路島	ap bank fes '12 Fund for Japan みちのく
日程		2012年7月14日(土)、15日(日)、16日(月・祝)	2012年8月4日(土)、5日(日)	2012年8月18日(土)、19日(日)
会場		ヤマハリゾートつま恋	淡路島国営明石海峡公園	国営みちのくの湖畔公園
場所		静岡県掛川市	兵庫県淡路市	宮城県柴田郡川崎町
時間		開園 08:00 / 開場 09:00 / 開演 12:00 / 終演 19:00 / 閉場 21:00 / 閉園 22:00		
チケット		3日券(立ち見ゾーン/ゆったりゾーン) 各 ¥27,000 エコレゾキャンプ券 ¥5,000	2日券(立ち見ゾーン/ゆったりゾーン) 各 ¥18,000 1日券(立ち見ゾーン/ゆったりゾーン) 各 ¥9,000 エコレゾ プレミアムキャンプ セット券 ¥10,000 エコレゾ プレミアムキャンプ券 ¥6,000	エコレゾ オートキャンプ券 ¥6,000 エコレゾ オートキャンプ 駐車券 ¥5,000
キャンプ	名称	エコレゾキャンプ	エコレゾ プレミアムキャンプ	エコレゾ オートキャンプ
	開催時間	7月13日(金) 13:00 ~ 7月16日(月・祝) 14:00	8月4日(土) 08:00 ~ 8月5日(日) 09:00	8月17日(金) 15:00 ~ 8月19日(日) 24:00
	場所	つま恋敷地内 ゴルフショートコース	国営明石海峡公園隣接 淡路夢舞台 樹の子村	国営みちのくの湖畔公園内 エコキャンプみちのく
動員数		約 84,000 人 (各日 約 28,000 人 × 3 日間) 前夜祭: 約 4,000 人 (※)	約 37,000 人 (各日 約 18,500 人 × 2 日間)	約 45,000 人 (各日 約 22,500 人 × 2 日間)
主催		ap bank		
企画・制作		ap bank / OORONG-SHA		
賛同 (50音順)		株式会社エイアンドエフ 株式会社エフエム東京(TOKYO FM) JR 東海 静岡新聞社 静岡放送(SBS) 大日本印刷株式会社 TOWER RECORDS 株式会社TBM 株式会社ロボット	株式会社エイアンドエフ 株式会社エフエム東京(TOKYO FM) 大日本印刷株式会社 TOWER RECORDS 株式会社 TBM 株式会社ロボット	
環境対策協力 (50音順)		A SEED JAPAN イーオクト株式会社 市栄産業株式会社 株式会社イーシーセンター 株式会社市川商店 株式会社ウインローダー 株式会社エージー・ジャパン 株式会社エコネコル 株式会社グリーンシンク 常陽産業株式会社 一般社団法人太陽光発電保全協会 株式会社耕す 帝人株式会社 農業生産法人有限会社ひがしぐるま 前田道路株式会社 レコテック株式会社	A SEED JAPAN イーオクト株式会社 株式会社ウインローダー 株式会社エージー・ジャパン 有限会社エヌ・アール・エス 京都有機質資源株式会社 株式会社グリーンシンク 常陽産業株式会社 新宿運輸商事株式会社 シンノウ紙資源株式会社 一般社団法人太陽光発電保全協会 帝人株式会社 鳥取興業株式会社 有限会社ナガタ商会 前田道路株式会社 レコテック株式会社	A SEED JAPAN イーオクト株式会社 株式会社ウインローダー 株式会社エージー・ジャパン 株式会社 SK トレーディング SKバイオマスリサイクルセンター 株式会社グリーンシンク 株式会社サイコー 株式会社関商店 常陽産業株式会社 新宿運輸商事株式会社 前田道路株式会社 一般社団法人太陽光発電保全協会 レコテック株式会社
会場運営居力 (50音順)		株式会社 e ライフ 株式会社バシフィックネット ヤマハ発動機株式会社	株式会社中央物産 株式会社バシフィックネット	株式会社バシフィックネット
協力		掛川市/つま恋	淡路夢舞台	川崎町/国営みちのくの湖畔公園
運営		SUNDAY FOLK PROMOTION	キョードー大阪	キョードー東北/ GIP
URL		http://fes.apbank.jp/		

※ つま恋のみ前夜祭を開催

## □ つま恋 前夜祭概要

前夜祭	名称	eco-reso+(plus)
	開催日時	2012年7月13日(金) 13:00 開場 ~ 21:00 閉場
	入場料	無料 ただし、つま恋の入園料については下記のとおり ・7月14日、15日、16日のいずれかの ap bank fes'12 Fund for Japan チケットの提示でつま恋の入園料無料 ・チケットをお持ちでない方は、つま恋入園料(大人 ¥1,000、小人 ¥500、幼児無料)が必要 ・つま恋は 17:00 以降は入園無料
	内容	ライブエリア以外のすべてのエリアがオープン

# Statement of income and expenses

ap bank fes の収益は、'05 の初開催から'10 まで、ap bank が行う持続可能な社会創りのためのさまざまな活動のための活動資金としていましたが、ap bank fes'12 Fund for Japan では、'11 と同様にイベントの収益をすべて ap bank Fund for Japan を通じて東日本大震災の復興支援に充てたいします。

## □ ap bank fes '12 Fund for Japan 収支報告 (2013 年 2 月末現在)

(単位:円/消費税込)

チケット収入	LIVE	¥ 9,000 / つま恋・淡路島・みちのく 1日券 ¥ 27,000 / つま恋 3日券 ¥ 18,000 / 淡路島・みちのく 2日券	合計枚数: 157,830 枚	1,456,469,500
	キャンプ	¥ 5,000 / つま恋 エコレゾキャンプ券 ¥ 10,000 / 淡路島 プレミアムキャンプ セット券 ¥ 6,000 / 淡路島 プレミアムキャンプ券 ¥ 6,000 / みちのく オートキャンプ券 ¥ 5,000 / みちのく オートキャンプ駐車券	合計枚数: 1,288 枚	11,960,000
	アクセスバス	¥ 1,800 / 淡路島・みちのく アクセスバス券 大人 ¥ 900 / 淡路島・みちのく アクセスバス券 子供 (小学生以下)	合計枚数: 32,946 枚	59,018,700
	駐車券	¥ 3,500 / つま恋・淡路島・みちのく 1日駐車券 ¥ 10,000 / つま恋 4日通し駐車券 ¥ 6,500 / 淡路島・みちのく 2日通し駐車券	合計枚数: 20,772 枚	76,087,500
	クローク券	¥ 850 / つま恋・淡路島・みちのく クローク券 先行販売 ¥ 1,000 / つま恋・淡路島・みちのく クローク券 当日販売	合計枚数: 4,943 枚	4,533,800
	その他収入	物販 フードエリア収入 協力金	オフィシャルグッズ (9月2日までの通信販売含む) フードエリア出店料、販売ロイヤリティなど 賛同企業 (JR 東海、ティンバーランドジャパン、ローソンチケット) ※50 音順	
収入合計				2,204,978,794

※賛同企業とは、ap bank fes '12 Fund for Japan の趣旨に賛同いただき、イベント制作にご協力いただいた企業です。

イベント制作費	ライブエリア	ステージセット、舞台監督、大道具、音響、照明、映像、特効、運搬など 楽器テクニシャン人件費、楽器レンタル費、調律など	417,768,259
	フードエリア	テント、看板、運搬、音響、照明費など 出店管理経費、ワークショップ制作費、eco-reso camp 運営費など	281,293,031
	環境対策費	ごみ対策費、エネルギー対策費、トイレ管理費など	35,395,822
現地制作費		会場費、会場設営費 (プレハブ・仮設トイレ・看板など)、舞台設営費、会場外設営費、人件費など	487,301,193
		移動費、車両費、シャトルバス、駐車場運営・使用料など	59,251,377
		食事代、ケータリング代など	21,685,730
		アルバイト・警備員費など	65,960,861
		著作権使用料、運営雑費、花火、制作協力費など	49,369,204
出演アーティスト経費	出演者・ヘアメイク・スタイリストのギャランティー・交通費など	61,740,805	
移動宿泊費	宿泊 (出演者・スタッフ・ボランティア・関係者など) 移動 (スタッフ・ボランティア・関係者、レンタカー、市内移動費など)	59,638,025	
イベント運営費		チケット販売手数料、チケットバンド・グッズ・STAFF T シャツ制作費など	321,469,437
		中止保険、リハーサルスタジオ代	76,529,000
		制作物広報費 (オフィシャルサイト制作費、ラジオ番組制作費、オフィシャルカメラマン撮影費など)	15,749,549
		諸経費 (消耗品費、雑費など)	12,255,668
支出合計			1,965,407,961

※企画・制作を担当した鳥籠舎スタッフ分の経費については、移動交通・宿泊等実費のみを経費計上しています。

収支 **¥ 239,570,833**



## *About; ap bank*

ap bank は、音楽プロデューサー小林武史と Mr.Children の櫻井和寿によって 2003 年に設立。環境プロジェクトなどへの融資をはじめ、持続可能な社会を創るためのさまざまな活動を行っています。ap bank の「ap」は、「Artists' Power」の AP、そして「Alternative Power」の AP という意味が込められています。

融資事業から始まり、2005 年からは野外音楽イベント「ap bank fes」の開催、2011 年には東日本大震災復興支援のため「ap bank Fund for Japan (apFJ)」を立ち上げ、被災地での炊き出し、ボランティアの募集・派遣といった復興支援活動を行いました。ap bank は、命を支える食やエネルギーの在り方、そして経済や社会の在り方についても見つめ直し、一人ひとりが責任を持って参加できる持続可能な社会づくりを目指して、ますます活動の場を広げていきます。

<http://www.apbank.jp>

## *About; ap bank fes*

ap bank fes は、2005 年より開催している野外音楽イベントです。

音楽を心地よい空間で楽しみながら、環境や体にやさしい食事、エコ雑貨のショッピング、ワークショップや有識者によるトークセッションなど、楽しみながら環境問題をより身近により前向きに考えることができるようなコンテンツを展開しています。また、環境負荷の少ないイベント作りを目指し、自然エネルギーや代替燃料の部分的導入、ごみの削減やリサイクルのための分別回収など、さまざまな環境への取り組みを実践しています。

8 回目となった ap bank fes '12 Fund for Japan では、初回からの開催地「つま恋」に、震災からの復興という意味でリンクする「淡路島」と「みちのく」を加えた 3 会場で開催。新たなつながりと広がりが生まれた回となりました。

また、前回同様イベントタイトルに「Fund for Japan」を掲げ、イベントの収益はすべて東日本大震災の復興支援に充当致します。

<http://fes.apbank.jp>

### □ 動員実績

ap bank fes '05	6 万人
ap bank fes '06	7 万 5000 人
ap bank fes '07	2 万 5000 千人 (台風のため 1 日のみの開催)
ap bank fes '08	8 万 1000 人
ap bank fes '09	8 万 4000 人
ap bank fes '10	8 万 1000 人
ap bank fes '11 Fund for Japan	8 万 4000 人

## *About; ap bank Fund for Japan*

ap bank fund for Japan (apFJ) は、2011 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災を受けて立ち上げられました。apFJ では義援金や復興支援金の募金受付・寄託のほか、被災地での炊き出し、復興支援ボランティアの募集・派遣といった復興支援活動や、実際に現場で復興支援活動を行う団体やプロジェクトの支援などを行いました。

2013 年 2 月からは、NPO 法人 ETIC. と協働で、意欲と経験が有る“右腕”を派遣する「ap bank×ETIC. 右腕派遣プログラム」や、ボランティアインフォ、A SEED JAPAN らと東北にさまざまなボランティアを派遣する「東北ボランティアプログラム」を始めるなど、更なる東北復興支援を行っています。

<http://apfj.apbank.jp>